

\ ところをつなぐ情報誌 /

うきは

2021.2.15
No. 369

掲載記事は2月1日時点で作成しています。
新型コロナウイルス感染症による影響で、
掲載記事の変更やイベント等が中止・
延期となる場合があります。詳しくは市
ホームページ、各問い合わせ先で確認して
ください。

目 次

- 3 税金は納期限内に納めましょう
- 4～5 耳納風土記
- 6～7 暮らしの情報
- 8 会計年度任用職員募集／イノシシ
等の被害防止事業／みそ造り教室
- 9 うきはのはなし『株式会社ミズキ』
- 10 協力隊通信
- 12 まだ間に合う！マイナポイント

今月の表紙



写真:左から2番目 Aコープ九州代表取締役 後藤泰三さん

住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できる街 うきは市へ

1月14日、うきは市とうきは市内で移動スーパー・移動販売を行う事業者が、「うきは市における買い物弱者支援による地域活性化及び地方創生推進に関する連携協定」を締結しました。

株式会社サンピット代表取締役 久次辰巳さんは、買い物弱者を救いたいとの想いで前会長が始めた、買い物無料送迎サービスを、移動販売車「ウキウキ号」に形態を変え、浮羽町エリアを中心に運行しています。地域の方々との交流の中、「買い物」は外出の機会となり動く・歩く・しゃべる・調理・栄養改善・脳トレ・・・と介護予防となることや、おやつを買いに来た子どもたちの計算の勉強の場にもなっていることを実感されています。

同じ想いを持つ、セブンイレブンうきはバイパス店の原口智嗣オーナーは、久次代表取締役に相談を重ねながらウキウキ号が週1回しか行けなかった地域への補完として、昨年6月から移動販売車の運行を開始しました。

また、介護ヘルパーとして働く中で「自分で商品を見て買いたい」という声を聞いていた、岩下徳子さんは、久次代表取締役のアドバイスを受け、Aコープ吉井店が協力店となる「とくし丸」の個人事業主となることを決意。昨年10月より吉井町エリアを中心に移動スーパーの運行を開始しました。

3社が、事業者同士の悩みや情報を共有し、市と連携しながら、高齢者のみならず、障がい者や子育て中の方などへの支援や地域振興、地域から買い物弱者や困りごとがなくなり、安心して生活できる街になるよう取組んでいきます。

人口3万人弱に対して3台もの移動販売車が走り、どこの地域にもやってくる街は全国探してもなかなかありません。コロナ禍でも屋外の販売で安心。どなたでも利用できます。皆さんも移動スーパーの中をのぞいてみませんか？

社会保険労務士・中小企業診断士・ 商工会経営指導員が無料で申請の お手伝いをします

うきは市では、うきは市商工会、福岡県よろず支援拠点、福岡働き方改革推進支援センターと連携して、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業主や労働者に対し、申請が難しいとされる各種支援金、助成金等の申請サポート窓口を開設しています。

事業者向け

雇用調整助成金・福岡県家賃軽減支援金・
福岡県感染拡大防止協力金など

労働者向け

新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・
給付金など

◆期間 令和3年3月31日（水）まで

- ◆相談日（土日祝除く）※相談時間1時間
事業者向け 毎週月～金曜 10:00～16:00
労働者向け 毎週木曜 13:00～16:00

◆会場 うきは市民センター別館 U-BiC 2階

◆予約・問合せ

うきはブランド推進課
商工振興係 ☎76-9095

事前
予約制

- ◆当日はマスクの着用、3密を避けるため、
1社につき2名までの入室となります。